

■森茉莉 小説家。森鷗外の長女。54歳になって、父を回想した随筆集でデビュー、特有の美意識で一人暮らしの生活。

もりまり
日比谷公園・1903＝ 東京の千駄木で、森鷗外の長女に生まれる。母は志げ

日露戦争終・1905＝ 2歳：

悪妻と評される母のもと、鷗外の溺愛を受け、

明治天皇没・1912＝ 9歳：

遠足が嫌いなほど、箱入り娘に育ち、

21ヶ条要求・1915＝12歳：仏英和(白百合学園)小学校を卒業し、同高等学校本科へ入学。

本格政党内閣1918＝15歳： フランス文学者山田珠樹と見合い、好みの美男子で、婚約。

ベルサイユ条約・1919＝16歳：卒業。結婚、

大暴落・・・1920＝17歳：長男を出産するも、育児は女中任せ、

原敬首相暗殺1921＝18歳：

水平社結成・1922＝19歳：留学した夫を追って渡欧し、パリ生活を謳歌するうち、最愛の父死去の報を受け、

関東大震災・1923＝20歳：帰国。関東大震災に遭遇するも、無事。

治安維持法・1925＝22歳：次男を出産するが、

金融恐慌・・・1927＝24歳：2児をおいて、逃げ出すように、離婚。

海軍軍縮条約1930＝27歳：フランス文学者佐藤彰と再婚し、仙台に移住、自分も仏文学の翻訳を始めると、

満州事変・・・1931＝28歳：仙台が不満になって、再び離婚し、実家に戻る。

二二六事件・1936＝33歳：母が死去。

日中戦争始・1937＝34歳：

第二次大戦始1939＝36歳：

日米開戦・・・1941＝38歳：弟類の結婚を契機に、下谷の勝栄荘に移住、第二の故郷となる。

敗戦・・・1945＝42歳：

新憲法公布・1946＝43歳：妹杏奴を介して、20年ぶりに次男と再会し、号泣。

新憲法施行・1947＝44歳：疎開先から帰京し、杉並区永福町に転居。

極東裁判決・1948＝45歳：

独立回復・・・1951＝48歳：長男とも再会し、以後、恋人のように往来。世田谷のアパートに転居。

なべ底不況・1957＝54歳：*鷗外を回想した随筆集「父の帽子」で日本エッセイストクラブ賞受賞、54歳の文壇デビューであった。

以後、独特の非日常的耽美の世界を描く小説を発表、茉莉美学と称される。

安保闘争・・・1960＝57歳：

タイタイ病始・1961＝58歳：*「恋人たちの森」で田村俊子賞受賞、

全国総合計画1962＝59歳：「枯葉の寝床」を発表、

TV宇宙中継始1963＝60歳：「贅沢貧乏」、

いざなぎ景気1966＝63歳：「甘い蜜の部屋」の執筆を始め、

震ヶ関ビル・1968＝65歳：「記憶の繪」「私の美の世界」、

石油ショック1973＝70歳：代沢ハウスへ転居。ジップ「マドゥモアゼル＝ルウルウ」訳、

クランプール事件1975＝72歳：*10年がかりの長編「甘い蜜の部屋」で泉鏡花賞を受賞。

以後、存命中の刊行は無く、晩年は、極度の貧困のなか、特有の美意識に基づく一人暮らしの生活を送り、

中曽根内閣・1982＝79歳：

デイズ・ニース・1983＝80歳：世田谷経堂のフミハウスに転居。

・・・1984＝81歳：

ジャンボ機墜落1985＝82歳：心臓発作で入院し、

竹下登内閣・1987＝84歳：心不全で、没した。いわば孤独死であった。没後に、書き溜められていたものが刊行される。

「この人どんな人」、インターネットWikipedia、